

～ 保育者が、本気で取り組む「保育防災」～

JP子どもの森づくり運動

「保育防災アクションマイスター認定講座」

受講園募集案内



● お問い合わせ・受講申し込み先 ●

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(子森ネット)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4

Tel:03-5755-3213 Fax:03-5755-3081

mail:info@kodomonno-mori.net

保育防災アクションマイスター認定講座とは

▶ 今、なぜ「保育防災」なのか

巨大地震や豪雨災害の頻発など、今や災害列島化した我が国においては、保育施設における防災対策は待ったなしです。しかしながら、そもそも多くの幼児(少)期子どもたちを預かっている保育施設では、通常の防災対策は通用しません。実効性のある対策としては、それぞれの施設に、いわゆる「保育防災リーダー」を配置し、リーダーが中心になって園全体で施設独自の防災の仕組みづくりと防災意識を高めることに取り組むことでしか実現できないと考えます。

▶ 「保育防災アクションマイスター認定講座」の設立

そのような状況を踏まえ、JP子どもの森づくり運動（特別協賛：日本郵政グループ）では、2020年に、消防庁防災アドバイザー鎌田修広氏（株式会社タフ・ジャパン代表取締役）と共に、保育施設に特化した防災のスキルと高い防災マインドを持つ「保育防災リーダー」の養成を目指す「保育防災アクションマイスター認定講座」の仕組みづくりに取り組み、2021年から受講園の募集を開始しました。

▶ 認定講座の特徴

- ① 一般的な防災のスキルを学ぶだけの講座ではなく、受講園それぞれの事情に応じた実効性ある防災活動の仕組みづくりを目指す実践講座です。
- ② 防災活動の実効性を確保するために、講座の教材として他園における優れた防災活動事例を積極的に活用します。
- ③ 実効性ある保育防災には保護者との情報共有が必須です。本講座では、災害時に本当に役立つ「安否確認／一斉同報システム」（詳細別紙）を提案したいと思います。さらに、今や優れた保育防災活動の地域や保護者への効果的な情報発信は園の価値を確実に高める時代です。地域や保護者に対する効果的な情報発信のノウハウも提供したいと思います。

「保育防災アクションマイスター」に何よりも求められるのは、
“災害時に子どもの運命を変えるのはわたしたちだ！”という強い決意です。
単に役職として務めるのではなく、志を持って自ら率先して動いていただかねばなりません。
だから**「防災“アクション”マイスター」**なのです。今回の取り組みが、
「保育防災」の普及、及び保育のあらたな価値向上に少しでも役立つことを願っています。

講座概要

1. 運営：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
2. 運営協力：株式会社タフ・ジャパン
3. 特別協賛：日本郵政グループ
4. 協力：全国私立保育園連盟 大谷保育協会 子ども環境研究所「ギビングツリー」他
5. 運営概要
 - 1) 講座運営期間：2021年4月～2022年3月（第一期） / 以降、毎年同じ期間で運営予定
 - 2) 受講生募集期間：2021年2月～3月末（第一期生） / 以降、毎年同じ期間で募集予定
 - 3) 募集人数：各園2名までを資格認定対象者として上限12園（24名）を募集（先着順）
 - 4) 講座内容
講座は、消防庁防災アドバイザー鎌田修広氏（株式会社タフ・ジャパン代表取締役）による、原則、年6回のOnlineによるワークショップ形式で進行されます。
 - 5) 資格認定
講座受講の集大成として、毎年2月に開催予定の、JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会」会場にて成果発表を行っていただき、その発表内容をもって「保育防災アクションマイスター」としての資格認定を行います。
 - 6) 受講料：3万円（年間 / 園）
*各園2名までを資格認定対象者とします。（リモート講座には何人でも参加できます。）
 - 7) 受講申し込み方法：別紙申し込み用紙にご記入の上、子森ネットまでお申込み下さい。

講座内容

1. 講師	消防庁防災アドバイザー 株式会社タフ・ジャパン代表取締役 鎌田 修広 氏
2. 講座回数	研修講座は、原則、年6回、ZOOMによるリモートでのワークショップ形式で実施します。必要に応じて、講師による出張講座にも対応します。
3. 講座内容	1) ワークショップは、主に以下のカテゴリーに沿って進行されます。 ① 事前準備・初動体制 ② 情報収集・安否確認 ③ 消火・救助救出・応急救護 ④ 避難訓練 ⑤ 地域や保護者との連携 ⑥ 食料等の備蓄 2) ワークショップは、参加園それぞれが、①各カテゴリーごとに自園における防災活動の優先課題を設定し、②課題を解決する方法や取り組みを園全体で協議し、③結果を発表するという実践的な内容で進行されます。 ワークショップを通じて、自園の防災活動における課題を見出し、園全体で共有していただきます。 *上記カテゴリーは変更される場合があります。
4. 防災動画	保育者にとって、もっとも参考になるのは他園における優れた防災活動事例です。参加園から保育防災活動動画を募集し、講座の教材として活用します。
5. 安否確認	NTTコミュニケーションズ株式会社との連携で、災害時に本当に役立つ「安否確認／一斉通報」のシステムをご提案します。(別経費 / 詳細別紙ご参照)

講師紹介



鎌田 修広 氏

株式会社タフ・ジャパン代表取締役
消防庁防災アドバイザー

1969年3月27日生まれ。消防局勤務18年間の半分は体育教官として消防職員の人材育成等に従事。退職後は、災害に強い人づくり・まちづくりの実現を目指し、全国各地に年間約200回出張中。

JP子どもの森づくり運動が取り組む「保育防災」のアドバイザーとして、『本当に、子どもの命を守る』をテーマに、保育施設に特化した防災・減災の仕組みづくりと「災害時相互支援協力協定」のネットワークづくりに取り組んでいる。





保育現場からのメッセージ(順不同)

福岡県 若久青い鳥保育園 園長 岡村 斉 先生

全国で頻発する自然災害。福岡県も例外ではなく最近では毎年のように豪雨災害に見舞われています。経験した事の無い未曾有の自然災害に対し保育園だけでは対応しきれない状況も考えられ行政・地域との連携や何よりも、我々保育関係者が防災をもう一度根本的に見直し、今回の「保育防災アクションマイスター認定講座」の受講をきっかけに全国に広がっていく事を願っています。大切な子どもたちの命を守るために！

福井県 大野幼稚園 園長 藤 兼量 先生

私たちは『ドンダリの活動』を通じて、多くの人々や自然と出会い、さらにその中から保育の基本となる『人間の生き方』を学んできたことです。本当に子どもを大切にするとはい？子どもと共に生きるとは？今回の研修も皆様方の大切な学びの機会になりますよう努めてまいります。多数のご参加をお待ちして居ります。

北海道 三和新琴似保育園 園長 菊地 秀一 先生

自然の猛威による大災害は、今や珍しいものではなく、近年は日本各地で頻繁に起こっています。私の地元北海道でも、記憶に新しいものでは、2018年9月に発生した「胆振東部地震」があります。たまたま保育時間中ではない、未明の出来事だったので、保育施設での人的被害はありませんでしたが、保育中に発生していれば、子どもへの被害は避けられなかったかもしれません。今や保育防災は必須のものです。いつ、どこで起こってもおかしくない自然災害に備え、「保育防災アクションマイスター認定講座」を受講することを強くお勧めします。

東京都 春明保育園 理事長 陽田 房蔵 先生

今や自然災害は、地球規模で頻発しているといっても過言ではない状況です。このような中でかけがえのない子どもたちの命を守るために防災は避けて通ることはできません。春明保育園では横割り組織として5つの班を作り職員はいずれかの班に所属するようになっています。その一つとして防犯・防災班があります。園内はもとより保護者や地域を巻き込むことなど班長を中心に活動しています。保育の現場として事業の継続は重要です。ここに至るには防災アドバイザーの鎌田修広氏に1年間研修をお願いした結果です。これからの保育現場にとって「保育防災アクションマイスター認定講座」は大変有効な事業と思います。